

ミギワ[®]20フロアブル 「令和4年度青森りんご勲章」受賞報告

日本曹達(株) 農業化学品事業部 普及部

当社の新規殺菌剤「ミギワ20フロアブル」が、青森県のリンゴ産業の発展に貢献した個人・団体に対して贈られる「青森りんご勲章」を賜りましたのでご報告いたします(写真1、2、3)。



写真1. ミギワ20フロアブル



写真2. 青森りんご勲章



写真3. 青森りんご勲章 表彰状

ミギワ20フロアブルの開発背景

- ・果樹の病害を対象に、2014年より(一社)日本植物防疫協会を通じて委託試験を開始(当初の予定では2022年度後半に登録取得)。
- ・2016年に青森県下で、当時使用されていた黒星病防除薬剤の感受性低下が原因でリンゴ黒星病(写真4、5)が大発生し、一刻も早い新規系統の殺菌剤の開発・販売が望まれる。
- ・2018年に青森県よりミギワ20フロアブルの早期登録要望書を農水省へ提出、続いて当社より優先審査希望書の提出を行い、優先審査が開始される。
- ・2020年7月に新規登録薬剤では初めての優先審査での登録認可。
- ・2021年2月より、青森県を皮切りに先行販売開始(2022年12月全国販売開始)。

通常、農薬の登録申請から認可までは約3年かか

るところ、「ミギワ20フロアブル」は1年3か月というスピード認可でした。これもひとえに三村前青森県知事をはじめ関係団体からのご支援によるものと感謝いたしております。



写真4. リンゴ黒星病(葉における病斑)



写真 5. リンゴ黒星病（幼果における病斑）

現在ミギワ 20 フロアブルはリンゴ黒星病の主要防除薬剤としてご使用いただいております、今後も引き続き青森県をはじめとした各地のりんご生産の一助となれば幸いです。また 2022 年 12 月より全国販売を開始したことにより、りんごのみならず、なしやぶどう等の各種果樹の病害防除にご活用いただけるよう、普及を進めてまいります。

ミギワ 20 フロアブルについて

- ・ ミギワ 20 フロアブル：有効成分キノプロール®（一般名：イブフルフェノキン）20.0%含有
- ・ 新規の作用機構（殺菌剤分類：52、DHODH 阻害）



ミギワ20フロアブル製品ページ

- ・ 黒星病、うどんこ病、晩腐病などを対象とした広い殺菌スペクトラムを有します。
- ・ 予防効果主体の殺菌剤で、浸透移行性も示します。

国内で広く使用されている DMI 剤やストロビルリン系剤に耐性のあるリンゴ黒星病菌に卓越した効果を示すほか、ストロビルリン系剤に耐性のあるブドウ晩腐病菌にも有効であり、農業生産現場における耐性菌の問題を解決する新剤として期待されております。

また、キノプロールは、マメ類や果菜などの灰色かび病や菌核病などの病害にも有効であることから、これらの作物・病害を対象とする「ミギワ 10 フロアブル」を 2023 年 10 月より販売しております。

さらに、韓国においては日本と同じ 20%フロアブル剤の登録を取得・販売を目指しているほか、米国、欧州やブラジルにおいても開発を進めています。特に米国では原体登録を取得し、Reduced Risk（リスク低減の可能性のある製品）に認定され、薬剤の安全性と必要性が認められており、早期の販売開始に向けて準備を進めております。今後さらに多くの国々でグローバルに開発を進めてまいります。

当社は、引き続き効力に優れ、安全性が高く環境に配慮した農薬の開発を通じて、食料安全保障と持続可能な農業に貢献してまいります。

キノプロール
KINOPROL®
ACTIVE INGREDIENT

ミギワ®20 フロアブル



農業化学品トップページ